

令和3年 8月26日

令和3年度我孫子市交通安全推進協議会  
書面開催結果報告書

令和3年度我孫子市交通安全推進協議会（書面開催）の結果について報告いたします。

○議題 「第11次我孫子市交通安全計画」（案）の策定について  
議題について、承認の可・否を諮り、委員12名全員から承認の同意を得られました。

令和3年度 我孫子市交通安全推進協議会 会議概要

○日 時 書面開催

○場 所 一

○委員 回答者（12名）

高橋 希公真	山内 和利
三浦 明	玉田 千代子
村松 弘康	吉岡 晶子
入野 勢津子	神崎 朋松
福田 晶子	鈴木 寿幸
石上 克己	遠藤 絵里香

○議 題 「第11次我孫子市交通安全計画」(案)の策定について

○公開・非公開 一

○傍聴人 一名

○議題の承認

「第11次我孫子市交通安全計画(案)」の策定について、承認の可・否を諮り、委員12名全員から承認の同意を得られました。

○第11次我孫子市交通安全計画(案)へのご意見等

ご意見
4つの視点に基づく、7つの柱の推進。よくまとめられており、適切だと思います。「人優先」の交通安全思想を今後も強力に貫いていただきたい。
市民の安全について、色々考えていただき、とても感謝しています。
市民からの意見・要望等ございましたら、可能な限り早期に対応していきたいと考えております。そのためにも関係機関との連携が重要となりますので、今後ともよろしくお願いたします。
交通安全にともなう企画は予算がともなう事が多いので、難しい事があると思いますが、特に児童の通学・高齢者の横断場所の危険場所の発見。それにともなう予算は十分に取ってください。難しいでしょうが。

幼稚園、学校で交通指導を実施していますが、生活の中で守られていない事が多く見受けられる。運転者、歩行者、双方の安全に対する意識が必要。

コロナ禍において、市内では、自家用車や自転車の交通量が増えているように感じます。我孫子市の交通安全計画について、広く市民の皆さんに知っていただき、市民一丸となって「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり」に取り組めると良いと思います。

基本的な考え方・目標・計画の重点については賛成です。  
また、道路交通安全対策での今後の方向の視点も必須条件であると考えます。その解決のための7つの柱が充実し、実行されれば立派な安全対策と考えます。

高齢者の安全運転対策について

・子どもたちは、学校で安全指導という時間で定期的に指導されているが、大人については免許更新の時ぐらいである。自転車の乗り方や近所の交通信号や道路の変更等の情報は更新されていない。PTA や町内会そして警察主催でも地域の人が交通安全の情報を得られる機会をこまめに作って欲しい。特に自転車に乗る人、車を運転する人の講習を受けることを義務化に近い状況にしてほしい。

高齢者の安全運転対策について

・高齢者の免許については、認知症や体力の衰えのある人には更新はしないで欲しい。また、それが難しいときは1年に1度の講習を行い、様子をしっかり見る。さらに免許を返納するかどうか迷っている人の多くは、通院や買い物の心配があると思われる。今でも返納した一時期はバス券やタクシー券の配布をいただいているがそれでも車に頼っていた生活を代えるには不安がある。通院や買い物のためのシルバーバスとか動くスーパーなどの充実が必要と考えます。

○その他、八街市の児童5人死傷事故から、通学路における交通安全施設の設置についてご意見等

ご意見

現在、学校関係者等の関係機関とともに生徒に対する指導教養を実施しているところではございますが、正しい自転車の乗り方や歩き方が周知されておらず、適切な指導教養が行われていないように見受けられます。

そこで、自転車の乗り方や歩き方について学校関係者等の関係機関の方々が、正しく指導教養できるように、同機関の方々を対象とした正しい自転車の乗り方や歩き方に対する指導教養を実施する機会を設ける必要がありますので、ご検討願います。

先般、八街市内において、小学児童が犠牲になる交通事故が発生し、危険な通学路に対して見直しが図られたところではありますが、未だ把握されていない危険な通学路が存在する可能性があります。

よって、現状の通学路の点検のみで安心することなく、潜在している危険な通学路を細部に至るまで明らかにする必要があります。

<p>関係機関が連携し、不断に危険箇所の把握、情報共有に努め、その場に最も適切な交通安全施設のすみやかな設置をお願いしたい。</p>
<p>通学路には全てガードレールがることが望しいと思いますが、可能であれば歩道のない通学路に、計画的にガードレールを設置していただければと思います。</p>
<p>第四小学校通学区域では、すでに職員で通学路の点検を行い、必要なところ市に要望を出しているとのことです。よろしく対応をお願いします。</p>
<p>未だ把握されていない危険な通学路が存在する可能性があります。潜在している危険な通学路を細部に至るまで明らかにする必要がありますので、関係機関の方々からの情報収集を願います。</p>
<p>安全運転管理者のいる企業は地区の安管協として、講習会や事業所としての管理のしかた等、車の点検、運転者の健康管理を指導しております。安全運転管理者をおく事がいかに必要かを感じました。</p>
<p>市内には車道と歩道の線引きされていない通学路が沢山あります。交通量の多い区間から改善策をしていただければと思います。</p>
<p>八街市の事故後、我孫子市では危険だと認識されている通学路がどれぐらいあり、どんな整備計画があるのか気になりました。外側線設置や歩道の整備、車両の減速を促す取り組みなど、子どもたちの安全を確保する取り組みは後手にならないよう、早急に積極的にこなっていただきたいと思います。</p>
<p>○交通安全思想の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・罰則を厳しく。</li> <li>・飲酒運転では雇用主や飲んでいることを知っている人にも注意をしなかったら義務違反の罰則を作る。</li> </ul> <p>○道路交通環境の整備（特に通学路）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の標識をたてる。</li> <li>・スクールゾーンの表示（通行時間制限も含め）</li> <li>・ガードレール作成・交通整理員の人員を増やす（地域のボランティアも可ただし、旗や腕章などの道具は用意してあげたい）</li> </ul>
<p>何をするにも予算と人と道路の幅など色々解決しなくてはならないことはありますが、地域（学校・幼稚園・保育園）と市（教育委員会）と警察が何を大切にしたいかをしっかり話し合っ欲しいです。何よりも計画の目標を実行することが大切です。</p>